平成３０年度　　須賀川三中の学校運営グランドデザイン

21世紀に求められる汎用的能力等

第7次福島県総合教育計画　27～31年度

須賀川市「学校教育の重点」
須賀川市教育委員会「学校教育目標」
「小中一貫教育」須賀川モデルの基本構想

保護者・地域の願い
学力向上と進路希望の実現　思いやりと人間関係
部活動及び学校行事等での感動体験　学校生活に関する情報発信

教育目標（目指す子どもの姿）

【自分づくり】社会に目を開き「なりたい自分」の姿を描き 実現しようとする人

仲間とともに高め合える人（共　生）

自ら考え、表現できる人（創　造）

心身ともにたくましい人（健　康）

理想とする学校像
◎　今日が楽しく明日が待たれる学校

目指す教師像
1　高い理想を持ち、誇りある教師
2　生徒のよさを認め、伸ばす教師
3　自己研鑽に励み、学び続ける教師

長期（９年間）の目標

「社会に目を開き」の関連	「『なりたい自分』の姿を描き」の関連	「実現しようとする人」の関連
ヒト、モノ、コトに進んで関わろうとする態度	**理想や目標をもち、課題を見いだそうとする態度**	**協同で課題を解決しようとする態度**
規範意識　思いやりと寛容　広い視野　知的好奇心　コミュニケーション能力	自己肯定感　向上心　課題発見力　挑戦の意欲　情報活用力	意思決定　計画性　粘り強さ　協働の意識　問題解決的思考

中期(3年間)の目標

創造「自ら考え、表現できる人」	共生「仲間とともに高め合える人」	健康「心身ともにたくましい人」
問題解決や目標達成のために主体的に交流し合い、深まった考えを表現できる人	先輩や後輩とも良好な関係を築き、互いを高め合い、目標を成し遂げられる人	心身の健康や安全に関する知識を深め、自分で管理や回復を図ることができる人

前年度の成果と課題

本年度の目標と手立て

学習指導プロジェクト	生活指導プロジェクト	健康指導プロジェクト
友だちに考えを伝え、協同で問題を解決する力を育てます。	所属集団の目標達成を目指し、自分の役割を果たそうとする態度を身に付けさせます。	自分の心身の健康を理解し、進んで維持・向上を図れる力を育てます。
実力テスト県平均超「友達と一緒に問題を解決できた」60%以上	「学級や委員会で意欲的に取り組んだ」70%以上	3年次に新体力テストで全国平均並み
「家庭学習のやり方がわかり、自分から学習できた」５０%以上	「周りの人の立場になって思いやりのある行動をした」７０%以上	不登校生徒数ゼロとするために４%以内を目指す
1　すべての教科で「協同的な学び」を推進する。 ①単元構想に、ジャンプの課題を位置づける。 ②生徒の学び合う姿をみとる。 ③課題の明確化と振り返りの時間の確保を徹底する。 2　現職教育委員会で学力向上対策を推進する。 ①授業研究会など、互いの授業を開く。 ②家庭学習の習慣を身に付けさせる。 ③学力向上グランドデザインを改善し、確実に実行する。	1　一人の生徒も独りにしない集団を実現する。 ①全ての生徒に声をかけ、「変化」を察知する。 ②集団の中での役割・居場所を確実に持たせる。 ③目標実現のための手立てを明確に持たせる。 2　全教育活動で道徳教育を推進する。 ①1回以上、同僚または保護者に道徳の授業を開く。 ②行事等は生徒にも道徳的なねらいを意識させる ③重点価値項目を意識し、指導計画を確実に実施する。	1　それぞれの立場で体力向上対策を実行する。 ①保健体育で体つくりを進める。 ②日常生活でも運動の楽しさを味わわせる。 ③部活動での効率的な練習を推進する。 2　保護者とともに生活習慣・適応指導を徹底する。 ①不適応生徒を早期発見し、チームで対応する。 ②生活記録ノートの活用による適応指導を実施する。 ③養護教諭や栄養技師を参加させた指導を行う。

下線部は、花王スクール学校運営グランドデザインとの関連

地域とともにある学校づくり
○教育目標・経営方針等の共有
○花王スクール応援団との連携
○教育活動への参加、ボランティア協力

学校事故防止
○出欠確認、健康観察の徹底
○危険等発生時対処要領等の理解と訓練
○安全点検後の速やかな処置
○食の安全確保と放射線量の公開
○いじめ防止基本方針の周知徹底

教職員の資質・力量の向上
○校内研修の充実
○人事評価制度の活用
○不祥事の根絶

校務運営機構の合理化
○経営部門の強化
○会議、委員会等の効果的運営
○各部門への責任と権限の委譲

特別支援教育に関する研修の充実
○専門家と連携したアセスメント
○支援計画等に基づく小学校との連携

学校評価の結果分析に基づく学校改善

達成できたか否かがわかる目標→アクションレベルの具体的な手立て→手立ての効果を検証する考察→次年度の計画（目標のバージョンアップ・スライド、手立ての改善）